

---

color

朔

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

COLOR

### 【Zコード】

Z8817A

### 【作者名】

朔

### 【あらすじ】

かつて地上に咲く全ての花は神様から色をもらいました。ただひとつ、冬に咲く花を除いて……。

(前書き)

絵本にあつそうな話です。なぜ冬に咲く花があるのかと思つて書きました。冬にも咲く花があるんだと思つていただければいいと思います。

かつて地上の全ての花は神様から色をもらっていたのです。  
そして神様が天へと帰ったのち、それぞれの花はそれぞれもらった  
色で綺麗な花を咲かせるのです。

しかし一つの花だけがもらいそびれてしまつたのです。

その花はチューリップに話しかけました。

「チューリップさん。あなたの色はとても綺麗な赤ですね。どうか  
少しあなたの色をわけてもらえませんか。」

「いやよ。この赤は私だけの色。他の花に色をわけてしまつては、  
私だけの色でなくなつてしまふわ。」

その花はチューリップに断られてしまつた。

次に、向日葵に話しかけました。

「向日葵さん。あなたの太陽のように輝く黄色を少し私にわけても  
らえませんか。」

「だめだよ。僕は太陽を見上げるために黄色をもらつたんだ。君も  
黄色になつてしまつたら、僕達の役目がなくなつてしまふよ。」

その花は向日葵にも断られてしまつた。

次に、コスモスに話しかけました。

「コスモスさん。あなたの美しい桃色をどうか私にわけてもうえま  
せんか。」

「それは無理ですわ。私達ほど美しい桃色は誰もいないのよ。わけ  
てしまつては美しさが欠けてしまいますわ。」

その花はコスモスにも断られてしまつた。

春のチューリップ、夏の向日葵、秋のコスモス。

冬になるとつとしている今、みんな眠りについています。

その花は一人ぽつりと咲いています。すると、空から雪が降つてきました。

そしてぽつりと咲く花に話しかけてきました。

「そこで一人で咲いている花さん。色をもらわなかつたのですか？」  
「雪さん。私はいろんな花に頼んだけれど、誰も色をわけてくれなかつたのです。」

「他の花のように綺麗でカラフルな色はあげられないけれど、私のこの白さでよければあなたに差し上げます。」

「本当に？」

「私の色でよければどうぞ。」

「もちろんです。雪の白さはどの色よりも綺麗で輝いています。では、私はお礼に冬に咲くことにしましよう。あなたが寂しくならないようだ。あなたのあたたかい心を私は咲かせてします。」

そうして、その花は雪から“白”色をもう一  
冬に咲く花となりました。

そう、その花の名は

【スノードロップ】

(後書き)

最後まで読んでいただきありがとうございました。  
少しジャンルを変えてのお話です。このような子供向けっぽい話も  
好きなので気に入っていただければ幸いです。  
また評価やコメントを頂けると嬉しいです。  
次回作でお会いできますように。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8817a/>

---

color

2010年11月24日09時08分発行